

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川 765 番地 1  
 名 称 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
 代表者の氏名 理事長 小口 正範  
 (公印省略)

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第 67 条第 1 項及び試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第 18 条第 1 項の規定により次のとおり報告します。

工場又は事業所	名 称	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
	所 在 地	茨城県那珂郡東海村大字白方 2 番地 4

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-2<sup>注1</sup>] (単位：Bq)

測定箇所等		種 類	全粒子状物質	<sup>3</sup> H
排気口又は排気監視設備	JRR-2 排気口 <sup>注2</sup>		0	0
合 計			0	0
年間放出管理目標値			—	$1.5 \times 10^{12}$ <sup>注3</sup>

注 1 平成 18 年 11 月 6 日付で、JRR-2 の廃止措置計画認可

注 2 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は 0 と表示した。

注 3 原子炉本体及び原子炉建家等の解体期間における放出量が 1.5TBq/年、原子炉本体の維持管理期間における放出量は 0.24TBq/年である。

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-3]

(単位：Bq)

測定箇所等		種類	全希ガス		$^{131}\text{I}$	$^{133}\text{I}$ 注3	全粒子状物質	$^3\text{H}$
				$^{41}\text{Ar}$				
排気口又は排気監視設備	JRR-3 排気口 注1注2		$7.5 \times 10^9$	$7.5 \times 10^9$	0	$1.0 \times 10^6$	0	$2.0 \times 10^{10}$
	合計		$7.5 \times 10^9$	$7.5 \times 10^9$	0	$1.0 \times 10^6$	0	$2.0 \times 10^{10}$
年間放出管理目標値			$6.2 \times 10^{13}$		—	—	—	$7.4 \times 10^{12}$

注1 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

注3 保安規定の管理対象外の核種が検出されたため報告する。

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-4 注1] (単位：Bq)

測定箇所等		種類	全粒子状物質
排気口又は排気監視設備	JRR-4 排気口 注2注3		0
	合計		0
年間放出管理目標値			—

注1 平成29年6月7日付で、JRR-4の廃止措置計画認可

注2 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注3 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉の名称：NSRR]

(単位：Bq)

測定箇所等		種類	全希ガス		$^{131}\text{I}$	全粒子状物質
				$^{41}\text{Ar}$		
排気口又は排気監視設備	NSRR 原子炉棟排気口 注1注2		$1.9 \times 10^9$	$1.9 \times 10^9$	0	0
	NSRR 燃料棟排気口 注1注2		—	—	—	0
合計			$1.9 \times 10^9$	$1.9 \times 10^9$	0	0
年間放出管理目標値			$4.4 \times 10^{13}$		$4.8 \times 10^9$	—

注1 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉の名称：TCA<sup>注1</sup>] (単位：Bq)

種類		<sup>131</sup> I	全粒子状物質
測定箇所等			
排気口又は排気監視設備	TCA 排気口 <sup>注2注3</sup>	0	0
合計		0	0
年間放出管理目標値		—	—

注1 令和3年3月17日付で、TCAの廃止措置計画認可

注2 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注3 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉の名称：FCA<sup>注1</sup>] (単位：Bq)

種類		<sup>131</sup> I	全粒子状物質
測定箇所等			
排気口又は排気監視設備	FCA 排気口 <sup>注2注3</sup>	0	0
合計		0	0
年間放出管理目標値		—	—

注1 令和3年9月29日付で、FCAの廃止措置計画認可

注2 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注3 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉の名称：STACY] (単位：Bq)

種類		全粒子状物質
測定箇所等		
排気口又は排気監視設備	STACY 排気口 <sup>注1注2</sup>	0
合計		0
年間放出管理目標値		—

注1 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉の名称：TRACY<sup>注1</sup>] (単位：Bq)

測定箇所等		種類	全粒子状物質
排気口又は排気監視設備		TRACY 排気口 <sup>注2注3</sup>	0
	合計		0
年間放出管理目標値			—

注1 平成29年6月7日付で、TRACYの廃止措置計画認可

注2 年間放出量(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注3 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉等の名称：放射性廃棄物処理場] (単位：Bq)

測定箇所等		種類	全粒子状物質
排気口又は排気監視設備	注1 注2 放射性廃棄物処理場	第1廃棄物処理棟 排気口	0
		第2廃棄物処理棟 排気口	0
		第3廃棄物処理棟 排気口	0
		解体分別保管棟 排気口	0
		減容処理棟排気口	0
		合計	0
年間放出管理目標値			—

注1 年間放出量(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)に排気量を乗じ求めている。  
 なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

[試験研究用等原子炉等の名称：汚染除去場] (単位：Bq)

測定箇所等		種類	全粒子状物質
排気口又は排気監視設備		汚染除去場排気口 <sup>注1注2</sup>	0
	合計		0
年間放出管理目標値			—

注1 年間放出量 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に排気量を乗じ求めている。  
 注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値<sup>注1</sup>

(単位: Bq/cm<sup>3</sup>)

測定箇所		濃度	前半の3月間 (10月～12月)		後半の3月間 (1月～3月)		
			平均値	最高値	平均値	最高値	
排気口又は排気監視設備	注5 JRR-2 排気口	ガス	ND <sup>注9</sup>	ND <sup>注9</sup>	ND <sup>注10</sup>	ND <sup>注10</sup>	
		塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注11</sup>	ND <sup>注11</sup>	ND <sup>注12</sup>	ND <sup>注12</sup>	
	注4 JRR-3 排気口	ガス	5.3×10 <sup>-5</sup> <sup>注13</sup>	6.1×10 <sup>-5</sup> <sup>注13</sup>	ND <sup>注14</sup>	ND <sup>注14</sup>	
		塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注15</sup>	ND <sup>注15</sup>	ND <sup>注16</sup>	ND <sup>注16</sup>	
	注4注6 JRR-4 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注17</sup>	ND <sup>注17</sup>	ND <sup>注18</sup>	ND <sup>注18</sup>	
	注4 N S R R	原子炉棟 排気口	ガス	ND <sup>注19</sup>	ND <sup>注19</sup>	ND <sup>注19</sup>	ND <sup>注19</sup>
			塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注20</sup>	ND <sup>注20</sup>	ND <sup>注21</sup>	ND <sup>注21</sup>
		燃料棟 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注22</sup>	ND <sup>注22</sup>	ND <sup>注23</sup>	ND <sup>注23</sup>
	注4注7 TCA 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注24</sup>	ND <sup>注24</sup>	ND <sup>注25</sup>	ND <sup>注25</sup>	
	注4注8 FCA 排気口	塵埃 <sup>注2</sup>	ND <sup>注26</sup>	ND <sup>注26</sup>	ND <sup>注27</sup>	ND <sup>注27</sup>	
		塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注28</sup>	ND <sup>注28</sup>	ND <sup>注29</sup>	ND <sup>注29</sup>	
	注4 STACY 排気口	塵埃 <sup>注2</sup>	ND <sup>注30</sup>	ND <sup>注30</sup>	ND <sup>注31</sup>	ND <sup>注31</sup>	
		塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注32</sup>	ND <sup>注32</sup>	ND <sup>注32</sup>	ND <sup>注32</sup>	
	注4注6 TRACY 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注33</sup>	ND <sup>注33</sup>	ND <sup>注33</sup>	ND <sup>注33</sup>	
	注4 放 射 性 廃 棄 物 処 理 場	第1 廃棄物 処理棟 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注34</sup>	ND <sup>注34</sup>	ND <sup>注35</sup>	ND <sup>注35</sup>
			塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注36</sup>	ND <sup>注36</sup>	ND <sup>注37</sup>	ND <sup>注37</sup>
		第3 廃棄物 処理棟 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注38</sup>	ND <sup>注38</sup>	ND <sup>注39</sup>	ND <sup>注39</sup>
		解体分別 保管棟 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注40</sup>	ND <sup>注40</sup>	ND <sup>注41</sup>	ND <sup>注41</sup>
		減容処理 棟排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注42</sup>	ND <sup>注42</sup>	ND <sup>注43</sup>	ND <sup>注43</sup>
		汚染除去場 <sup>注4</sup> 排気口	塵埃 <sup>注3</sup>	ND <sup>注44</sup>	ND <sup>注44</sup>	ND <sup>注45</sup>	ND <sup>注45</sup>

注1 放出核種については、別添参照。放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合はNDと表示した。検出限界濃度は注9～注12及び注14～注45のとおり。

注2 α核種に対するもの

- 注3  $\beta\gamma$ 核種に対するもの  
 注4 原子炉施設以外からの放出分を含む。  
 注5 平成18年11月6日付けで、JRR-2の廃止措置計画認可  
 注6 平成29年6月7日付けで、JRR-4及びTRACYの廃止措置計画認可  
 注7 令和3年3月17日付けで、TCAの廃止措置計画認可  
 注8 令和3年9月29日付けで、FCAの廃止措置計画認可  
 注9  $2.8 \times 10^{-4}$       注10  $3.7 \times 10^{-4}$   
 注11  $1.9 \times 10^{-9}$       注12  $1.6 \times 10^{-9}$   
 注13 核種  $^3\text{H}$       注14  $1.2 \times 10^{-3}$   
 注15  $2.0 \times 10^{-9}$       注16  $2.5 \times 10^{-9}$   
 注17  $1.0 \times 10^{-9}$       注18  $1.5 \times 10^{-9}$   
 注19  $3.6 \times 10^{-3}$   
 注20  $9.4 \times 10^{-9}$       注21  $9.0 \times 10^{-9}$   
 注22  $5.6 \times 10^{-10}$       注23  $6.1 \times 10^{-10}$   
 注24  $6.2 \times 10^{-9}$       注25  $3.8 \times 10^{-9}$   
 注26  $1.3 \times 10^{-10}$       注27  $1.1 \times 10^{-10}$   
 注28  $1.5 \times 10^{-8}$       注29  $3.7 \times 10^{-9}$   
 注30  $1.5 \times 10^{-11}$       注31  $1.6 \times 10^{-11}$   
 注32  $1.6 \times 10^{-10}$   
 注33  $1.6 \times 10^{-10}$   
 注34  $5.8 \times 10^{-10}$       注35  $5.2 \times 10^{-10}$   
 注36  $1.2 \times 10^{-10}$       注37  $1.3 \times 10^{-10}$   
 注38  $5.7 \times 10^{-10}$       注39  $6.1 \times 10^{-10}$   
 注40  $5.9 \times 10^{-10}$       注41  $5.3 \times 10^{-10}$   
 注42  $5.3 \times 10^{-10}$       注43  $5.2 \times 10^{-10}$   
 注44  $2.6 \times 10^{-9}$       注45  $3.0 \times 10^{-9}$

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度

① 放射性物質の種類別の年間放出量

(単位：Bq)

測定箇所等		種類 ( $^3\text{H}$ を除く)	核種別			
			$^{22}\text{Na}$	$^{51}\text{Cr}$	$^{54}\text{Mn}$	$^{59}\text{Fe}$
排水口又は排水監視設備	第1排水溝 <sup>注1注2</sup>	$8.7 \times 10^4$	—	—	—	—
	第2排水溝 <sup>注1注2</sup>	$1.4 \times 10^6$	$1.5 \times 10^5$	—	$2.3 \times 10^5$	—
	第3排水溝 <sup>注1注2</sup>	0	—	—	—	—
合計		$1.5 \times 10^6$	$1.5 \times 10^5$	—	$2.3 \times 10^5$	—
年間放出管理目標値		$1.8 \times 10^{10}$	—	—	—	—

(単位：Bq)

種類		核種別				
		$^{58}\text{Co}$	$^{60}\text{Co}$	$^{131}\text{I}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$
排水口又は排水監視設備	第1排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	0	—	—	$5.8 \times 10^4$ <sup>注3</sup>
	第2排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	$5.4 \times 10^5$	—	—	$4.4 \times 10^5$ <sup>注3</sup>
	第3排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	0	—	—	—
	合計	—	$5.4 \times 10^5$	—	—	$5.0 \times 10^5$ <sup>注3</sup>
年間放出管理目標値		—	$3.7 \times 10^9$	—	—	$3.7 \times 10^9$

(単位：Bq)

種類		核種別			
		$^{89}\text{Sr}$	$^{90}\text{Sr}$	$^{232}\text{Th}$	$^{238}\text{U}$
排水口又は排水監視設備	第1排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	$3.9 \times 10^2$	$2.6 \times 10^4$	$2.8 \times 10^3$
	第2排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	$6.3 \times 10^4$	—	—
	第3排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	—	—	—
合計		—	$6.3 \times 10^4$	$2.6 \times 10^4$	$2.8 \times 10^3$
年間放出管理目標値		—	—	—	—

(単位：Bq)

種類		核種別		$^3\text{H}$
		アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質	
排水口又は排水監視設備	第1排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	—	0
	第2排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	—	$5.0 \times 10^{10}$
	第3排水溝 <sup>注1注2</sup>	—	—	$2.5 \times 10^7$
合計		—	—	$5.0 \times 10^{10}$
年間放出管理目標値		—	—	$2.5 \times 10^{13}$

注1 原子炉施設以外からの放出分を含む。

注2 年間放出量 (Bq) は、排水中の放射性物質の濃度 (Bq/cm<sup>3</sup>) に廃液量を乗じ求めている。なお、放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合は0と表示した。

注3 福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

② 放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値<sup>注1</sup>

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

測定の箇所		濃 度	前半の3月間 (10月～12月)		後半の3月間 (1月～3月)	
			平 均 値	最 高 値	平 均 値	最 高 値
排水口又は排水監視設備	第1排水溝 <sup>注2</sup>	<sup>3</sup> H	ND <sup>注3</sup>	ND <sup>注3</sup>	ND <sup>注4</sup>	ND <sup>注4</sup>
		<sup>3</sup> H以外	1.9×10 <sup>-6</sup> <sup>注5</sup>	2.1×10 <sup>-4</sup> <sup>注6</sup>	3.5×10 <sup>-6</sup>	5.7×10 <sup>-4</sup>
	第2排水溝 <sup>注2</sup>	<sup>3</sup> H	7.2×10 <sup>-2</sup>	4.0×10 <sup>0</sup>	2.0×10 <sup>-1</sup>	6.0×10 <sup>0</sup>
		<sup>3</sup> H以外	3.8×10 <sup>-6</sup> <sup>注5</sup>	1.1×10 <sup>-4</sup>	2.9×10 <sup>-6</sup> <sup>注5</sup>	7.5×10 <sup>-5</sup>
	第3排水溝 <sup>注2</sup>	<sup>3</sup> H	5.0×10 <sup>-2</sup>	3.0×10 <sup>-1</sup>	— <sup>注7</sup>	— <sup>注7</sup>
		<sup>3</sup> H以外	ND <sup>注8</sup>	ND <sup>注8</sup>	ND <sup>注8</sup>	ND <sup>注8</sup>

注1 放出核種については、別添参照。放射性物質の濃度が検出限界濃度未満の場合はNDと表示した。検出限界濃度は注3、注4及び注8のとおり。

注2 原子炉施設以外からの放出分を含む。

注3 2.9×10<sup>-4</sup>

注4 3.7×10<sup>-4</sup>

注5 福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響を含む。

注6 福島第一原子力発電所事故で放出された放射性物質の影響による。

注7 <sup>3</sup>Hを含む廃液の放出はなかった。

注8 2.0×10<sup>-4</sup>

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等

(単位：m<sup>3</sup>)

施設の名称	放射 性 廃 棄 物 の 廃 棄 施 設						施設合計	
放射性廃棄物の種類								
量								
前年度末保管量								
当該年度の発生量								
当該年度の減少量								
施設内減量								
施設外減量								
当該年度末保管量								
保管設備容量								



(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等<sup>注1</sup>

(単位：200Lドラム缶換算本数)

施設の名称 放射性廃棄物の種類 量	放射性廃棄物の廃棄施設 <sup>注2</sup>				
	濃縮廃液	フィルタースラッジ	イオン交換樹脂	雑固体廃棄物	焼却灰
前年度末保管量	4,565	175	566	74,628	2,221
当該年度の発生量	14	0	7	6,458	20
当該年度の減少量	0	0	0	10,180	0
施設内減量	0	0	0	8,878	0
施設外減量	0	0	0	1,302	0
当該年度末保管量	4,579	175	573	70,906	2,241
保管設備容量					

(単位：200Lドラム缶換算本数)

施設の名称 放射性廃棄物の種類 量	放射性廃棄物の廃棄施設 <sup>注2</sup>			施設合計
	化学処理スラッジ	照射金属	その他（大型機器類、コンクリート等）	
前年度末保管量	1,956	2,384	40,332	126,827
当該年度の発生量	0	0	164	6,663
当該年度の減少量	0	0	385	10,565
施設内減量	0	0	385	9,263
施設外減量	0	0	0	1,302
当該年度末保管量	1,956	2,384	40,111	122,925
保管設備容量				139,350

注1 原子炉施設以外からの発生量を含む。なお、データは、合算値である。

注2 第1及び第2保管廃棄施設

2 使用済燃料の貯蔵量等

(単位：体)

施設の名称	JRR-3					JRR-4	NSRR	小計
	① 金属天然ウラン燃料要素	② 金属天然ウラン燃料要素 (注1)	③ 天然ウラン UO <sub>2</sub> 燃料要素	④ 1.5%濃縮ウラン UO <sub>2</sub> 燃料要素	⑤ U <sub>3</sub> Si <sub>2</sub>   Al分散型燃料要素 〔20%LEU〕			
使用済燃料の種類						—	⑥ 20%濃縮ウラン水素化 ジルコニウム合金燃料要素	
前年度末貯蔵量	600	9	62	345	141	0	23	1,180
当該年度の発生量	0	0	0	0	16	0	0	16
当該年度の搬出量	0	0	0	0	0	0	0	0
搬出先の名称	—	—	—	—	—	—	—	
当該年度末貯蔵量 (小計)	600	9	62	345	157	0	23	1,196
		(416)						
貯蔵施設容量	600	450			730	—	255	2,035

(単位：体)

施設の名称	STACY			TRACY	小計
	⑦ 溶液燃料	⑧ コンパクト型ウラン 黒鉛混合燃料	⑨ ディスク型ウラン 黒鉛混合燃料		
使用済燃料の種類				—	
前年度末貯蔵量	5 (注2)	728 (注3)	32 (注4)	0	5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)
当該年度の発生量	0			0	0
当該年度の搬出量	0			0	0
搬出先の名称	—			—	
当該年度末貯蔵量	5 (注2)	728 (注3)	32 (注4)	0	5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)
貯蔵施設容量	5 (注2)	728 (注3)	32 (注4)	—	5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)

(単位：体)

施設の名称	T C A			F C A				小計
	⑩酸化ウラン燃料 (1.0～3.2%LEU・天然)	⑪ウラン・プルトニウム混合 酸化物燃料	⑫酸化トリウム燃料	⑬濃縮ウラン 金属燃料 (19.9%LEU)	⑭天然ウラン 金属燃料	⑮劣化ウラン 金属燃料	⑯劣化ウラン 酸化物燃料	
使用済燃料の種類								
前年度末貯蔵量	1,723	104	30	18,870	28,708	7,100	55,009	111,544
当該年度の発生量	0			0				0
当該年度の搬出量	0			0				0
搬出先の名称	—			—				
当該年度末貯蔵量	1,723	104	30	18,870	28,708	7,100	55,009	111,544
貯蔵施設容量	1,723	104	30	18,870	28,708	7,100	55,009	111,544

(単位：体)

施設の名称	J R R - 2	合計
使用済燃料の種類	—	
前年度末貯蔵量	0	112,724 5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)
当該年度の発生量	0	16
当該年度の搬出量	0	0
搬出先の名称	—	
当該年度末貯蔵量	0	112,740 5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)
貯蔵施設容量	—	113,579 5 (注2) 728 (注3) 32 (注4)

注1 JRR-3の②の9体は11個の燃料容器に分割して保管している。

注2 溶液であることを考慮し、量は貯蔵設備の基数とし、単位は基とする。

注3 単位は本とする。

注4 単位は個とする。

### 3 放射線業務従事者の線量分布

#### (1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)				
	0.1mSv以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下	5mSvを超え 10mSv以下
職員	245	6	0	0	0
その他	1,296	6	0	0	0
合計	1,541	12	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)				
	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下
職員	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線量分布 (人)				
	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下	50mSvを超え るもの	合計
職員	0	0	0	0	251
その他	0	0	0	0	1,302
合計	0	0	0	0	1,553

線量 放射線 業務従事者	総線量 <sup>注1</sup> (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
職員	2	0.0	0.5
その他	2	0.0	0.4
合計	4	0.0	

(2) 女子（妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を試験研究用等原子炉設置者に書面で申し出た者を除く。）の放射線業務従事者の3月間の線量分布

放射線業務従事者		線量	線量分布（人）			
			0.1mSv以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下
前半の3月間 (10月～12月)	職員		18	0	0	0
	その他		78	0	0	0
	合計		96	0	0	0
後半の3月間 (1月～3月)	職員		18	0	0	0
	その他		25	0	0	0
	合計		43	0	0	0

放射線業務従事者		線量	線量分布(人)		総線量 <sup>注1</sup> (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
			5mSvを 超えるもの	合計			
前半の3月間 (10月～12月)	職員		0	18	0	0.0	0.0
	その他		0	78	0	0.0	0.0
	合計		0	96	0	0.0	
後半の3月間 (1月～3月)	職員		0	18	0	0.0	0.0
	その他		0	25	0	0.0	0.0
	合計		0	43	0	0.0	

注1 使用する線量計による評価値が0.1mSv単位であるため、小数点以下1桁目を四捨五入し、整数として記載する。

#### 4 試験研究用等原子炉の運転時間及び熱出力

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-2<sup>注1</sup>]

月別	項目	運転時間 (h)	熱出力	
			平均(kW)	最大(kW)
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
	合計			

注1 平成18年11月6日付けで、廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-3]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均(kW)	最大(kW)
10月	510.75	$1.90 \times 10^4$	$1.92 \times 10^4$
11月	592.50	$1.92 \times 10^4$	$1.93 \times 10^4$
12月	462.90	$1.90 \times 10^4$	$1.93 \times 10^4$
1月	—	—	—
2月	—	—	—
3月	—	—	—
合計	1566.15	$1.91 \times 10^4$	

[試験研究用等原子炉の名称：JRR-4<sup>注1</sup>]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均(kW)	最大(kW)
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

注1 平成29年6月7日付けで、廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：NSRR]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均(kW)	最大(kW)
10月	—	—	—
11月	—	—	—
12月	5.52	$1.2 \times 10^1$	$1.9 \times 10^7$
1月	4.43	$1.2 \times 10^2$	$1.5 \times 10^2$
2月	—	—	—
3月	—	—	—
合計	9.95	$6.2 \times 10^1$	

[試験研究用等原子炉の名称：FCA<sup>注1</sup>]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均 (kW)	最大 (kW)
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

注1 令和3年9月29日付けで、廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：TCA<sup>注1</sup>]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均 (kW)	最大 (kW)
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

注1 令和3年3月17日付けで、廃止措置計画認可

[試験研究用等原子炉の名称：STACY]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均 (kW)	最大 (kW)
10月	—	—	—
11月	—	—	—
12月	—	—	—
1月	—	—	—
2月	フ	—	—
3月	—	—	—
合計	—	—	

[試験研究用等原子炉の名称：TRACY<sup>注1</sup>]

項目 月別	運転時間 (h)	熱出力	
		平均 (kW)	最大 (kW)
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計			

注1 平成29年6月7日付けで、廃止措置計画認可



別添

放射性物質の放出核種について

(1) 濃度の測定及び計算に当たって対象とした核種並びに周辺監視区域外における放射性物質の空気中の濃度限度及び周辺監視区域外における放射性物質の水中の濃度限度

測定の箇所		対象となる <sup>※</sup> 主な核種	濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
排気口又は排気監視設備	JRR-2排気口	ガス	<sup>3</sup> H	3×10 <sup>-3</sup>
		塵埃(βγ核種)	<sup>60</sup> Co	4×10 <sup>-6</sup>
	JRR-3排気口	ガス	<sup>3</sup> H <sup>41</sup> Ar	3×10 <sup>-3</sup> 5×10 <sup>-4</sup>
		塵埃(βγ核種)	<sup>131</sup> I	5×10 <sup>-6</sup>
	JRR-4排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>60</sup> Co	4×10 <sup>-6</sup>
	NSRR 原子炉棟排気口	ガス	<sup>41</sup> Ar	5×10 <sup>-4</sup>
		塵埃(βγ核種)	<sup>131</sup> I	5×10 <sup>-6</sup>
	燃料棟排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>60</sup> Co	4×10 <sup>-6</sup>
	TCA排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>131</sup> I	5×10 <sup>-6</sup>
	FCA排気口	塵埃(α核種)	<sup>239</sup> Pu	3×10 <sup>-9</sup>
		塵埃(βγ核種)	<sup>131</sup> I	5×10 <sup>-6</sup>
	STACY排気口、	塵埃(α核種)	<sup>239</sup> Pu	3×10 <sup>-9</sup>
		塵埃(βγ核種)	<sup>60</sup> Co	4×10 <sup>-6</sup>
	TRACY排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>60</sup> Co	4×10 <sup>-6</sup>
	放射性廃棄物処理場	第1廃棄物処理棟排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs
第2廃棄物処理棟排気口		塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs	3×10 <sup>-5</sup>
第3廃棄物処理棟排気口		塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs	3×10 <sup>-5</sup>
解体分別保管棟排気口		塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs	3×10 <sup>-5</sup>
減容処理棟排気口		塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs	3×10 <sup>-5</sup>
汚染除去場排気口	塵埃(βγ核種)	<sup>137</sup> Cs	3×10 <sup>-5</sup>	

測定の箇所		対象となる <sup>注1</sup> 主な核種	濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
排水口又は排水監視設備	第1排水溝	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H 2 × 10 <sup>1</sup>
		<sup>3</sup> H以外	<sup>60</sup> Co <sup>137</sup> Cs <sup>232</sup> Th 2 × 10 <sup>-1</sup> 9 × 10 <sup>-2</sup> 4 × 10 <sup>-3</sup>
	第2排水溝	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H 2 × 10 <sup>1</sup>
		<sup>3</sup> H以外	<sup>60</sup> Co <sup>137</sup> Cs 2 × 10 <sup>-1</sup> 9 × 10 <sup>-2</sup>
	第3排水溝	<sup>3</sup> H	<sup>3</sup> H 2 × 10 <sup>1</sup>
		<sup>3</sup> H以外	<sup>60</sup> Co 2 × 10 <sup>-1</sup>

注1 対象となる主な核種とは、放出された又は放出が考えられる核種のうち、その量と濃度限度の逆数との積が大きい核種をいう。

(2) 排気口において濃度限度を超えているものについて

JRR-3等から放出された放射性物質は周辺監視区域外において下表のように希釈され、周辺監視区域外における放射性物質の最大濃度は濃度限度を十分下まわっている。

周辺監視区域外における希釈割合

排気口	希釈割合
JRR-3	約 2 × 10 <sup>-5</sup>
NSRR	約 5 × 10 <sup>-6</sup>

$$\text{希釈割合} = \frac{\text{最大濃度地点の放射性物質濃度}}{\text{排気口の放射性物質濃度}}$$